

# 春まるかじりツアー

4月3日(木) ~ 4月5日(土)

IN 南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	レクリエーション	野外炊飯作戦会議
2日目	野外炊飯	野外炊飯 レクリエーション	キャンプファイア
3日目	清掃 思い出工作	施設を出発 解散式	

一日目： 桜満開のポカポカ陽気の中、「春の自然をたくさん見つけよう！」と尼崎駅を出発しました。行きの車内からキャンプを一緒に楽しむという意識が高く、はじめましての友達にも積極的に話しかけ、施設に到着する頃には緊張もほぐれ、笑顔が溢れていました。お弁当を食べ、グループ発表を終えると、早速グループ対抗のレクリエーションです。三日間ともに活動するグループでたくさん会話をしたり、広い芝生を思う存分走り回ったり、ゲームを通してより仲を深めていきました。次は名札を作りました。憧れのリーダーと同じ名札が作れるとあって、みんな真剣です！グループでお気に入りの枝を見つけ、ノコギリで切っていくのですが、どの枝も固くなかなか上手く切れません。リーダーからアドバイスをもらいながら、一人ひとり作り上げていました。その後施設の使い方を確認し、夜は明日の野外炊飯にむけての作戦会議です。カレーかシチューかを決め、作り方、役割分担について話し合いました。少しずつグループを意識した行動が見られました。明日は、グループでの協力が必要なプログラムばかりなので、今日考えたことを実践できるか楽しみです。



二日目： 生憎の雨模様。風もきつく、4月とは思えない寒さのなか野外炊飯が始まりました。昨日の夜に話し合ったことを思い出しながら、調理していきます。雨や風の影響でかまどの火がつかなかったり、ついても消えてしまったり、思うようにいきません。しかし、寒くても目が痛くても自分達のご飯の為に、どうかしようとしてグループで奮闘していました。ほとんど休まずに一生懸命がんばる姿、友達を応援する姿、しんどそうな友達に気づき声をかける姿から、「自分達でやるんだ！みんなで美味しいご飯を食べるんだ！」という思いを強く感じました。思いのいっばいつまったカレーやシチュー完成し、綺麗に食べきった後は片付けです。寒さに加えて冷たい水という厳しい状況でしたが、誰も投げ出すことなく必死に洗い続けていました。その後、グループでゆっくり過ごし、館で様々なレクリエーションを楽しみました。夜のキャンプファイアでは、遊んで、歌って、踊って！みんなが大きな声を出し大盛り上がりでした。



三日目： 朝から布団や荷物の片付けにドタバタです。眠い目をこすりながら身支度を済ませ、食堂へと出発しました。外に出ると、なんと雪が！桜と雪という貴重な自然の姿に、寒い中でもみんな嬉しそうでした。朝食後は、お世話になった施設の清掃です。みんながすすんで役割を見つけテキパキと行動していたので、予定より早く思い出工作を始めることができました。内容は、一日目に拾った枝で「写真たて」を作ります。色を塗ったり、自然物を貼り付けたり、オリジナルの写真たてを夢中になって作っていました。時間いっばいまで工作を楽しんだ後は、最後の食堂でのご飯でした。一日目は静かだった食事の時間も、たくさんの会話が飛び交っていました。退所式では思い出を振り返り、ダンスを踊り、お世話になった施設や職員さんにお礼を伝えました。バスの車内は行き以上の盛り上がりで、尼崎駅に到着後も解散するギリギリまでみんなで遊び楽しみました。



## <キャンプ総括>

今回のキャンプは、参加者の半数以上がキャンプ経験者ということもあり、キャンプの楽しみ方や生活面での注意点など、よく知っているメンバーもおられました。楽しむことに関してはみんなピカイチで、自分達で楽しみを見つけ盛り上がっていました。しかし活動中“自分はできた＝みんなできている”という考えや行動があり、グループ内で何をやるにも差が見られました。そんなグループが目に見えて変わったのは、野外炊飯でした。雨、強風という悪条件が影響し、普段はできることができません。たくさんのハプニングが起こるなか、グループ内で自然とコミュニケーションが生まれ、片付けが終わるまで全員で奮闘していました。活動の中で“成功しなければならない”という決まりはありません。自分達で「どうしたいのか」を考え進めていける活動を、これからも追及していこうと思います。( 生本 ひろみ )